

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 SANKYO

コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 石原 明彦

TEL 03-5778-7777(代)

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	53,782	△24.8	6,952	△41.3	7,668	△44.9	4,607	△31.8
24年3月期第2四半期	71,535	△39.6	11,841	△64.9	13,928	△61.5	6,754	△70.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 4,053百万円 (△38.2%) 24年3月期第2四半期 6,560百万円 (△70.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	49.29	—
24年3月期第2四半期	72.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	439,951	407,444	92.6
24年3月期	495,988	418,303	84.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 407,444百万円 24年3月期 418,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
25年3月期	—	75.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	△29.2	12,000	△70.2	14,000	△68.5	8,000	△60.4	85.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	97,597,500 株	24年3月期	97,597,500 株
25年3月期2Q	4,124,016 株	24年3月期	4,123,691 株
25年3月期2Q	93,473,727 株	24年3月期2Q	93,553,731 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などにより一部で持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務危機の長期化、円高やデフレの影響などにより景気は厳しい状況で推移しております。また、中国など新興国経済の失速による世界経済への影響も懸念され、先行きにつきましても不透明な状況が続いております。

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、景気不透明感を背景としたファンの節約志向が続く中、パーラーの経営環境は依然として厳しい状況にあります。これを受けパーラーは新台購入に対する選別姿勢を強めており、一部の有力商品に需要が集中する傾向が見られます。

このような環境の下、当社グループでは平成24年3月に株式会社ジェイビー（JB）を子会社化し、従来のSANKYO、Bistyの2ブランド体制から新たに3ブランドでの事業展開を開始いたしました。また、平成24年4月に日本遊技機工業組合の内規変更が実施されたことに伴い、当社グループでは他社に先駆けて新内規に対応したパチンコの市場投入に成功しております。加えて、パチンコ・パチスロの魅力を更に高めることを目的に、モバイルと遊技機の連動サービスである「パワパチ」「パワスロ」も開始いたしました。こうした取り組みの結果、SANKYOブランドのパチスロ「パチスロ マクロスフロンティア はじまりの歌、銀河に響け！」（平成24年4月）が長期に亘ってファン人気を獲得し、パチスロ市場において当社グループの存在感を示すことができました。

しかしながら、その他の商品につきましても総じて販売が伸び悩んだため、平成24年9月13日に公表したとおり業績予想修正を余儀なくされるに至り、売上高537億円（前年同四半期比24.8%減）、営業利益69億円（同41.3%減）、経常利益76億円（同44.9%減）、四半期純利益46億円（同31.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

SANKYOブランドにおいて人気シリーズ第3弾となる「フィーバー創聖のアクエリオンⅢ」（平成24年7月）を中心に販売を行い、Bistyブランドではエヴァンゲリオンシリーズ最新作のライトスペック「EVAライトⅢ」（平成24年5月）、株式会社カプコンの人気ゲームとタイアップした「戦国BASARA3～関ヶ原の戦い～」（平成24年7月）を販売いたしました。また、JBブランドでは他社に先駆けて新内規対応の「ウイルスブレイカー」（平成24年6月）を販売いたしました。

この結果、売上高299億円（前年同四半期比40.0%減）、営業利益55億円（同52.5%減）、販売台数89千台となりました。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで3シリーズ、Bistyブランドで2シリーズの販売を行いました。SANKYOブランドでは「パチスロ マクロスフロンティア はじまりの歌、銀河に響け！」（平成24年4月）を中心に、「パチスロ 覇王伝 零」（平成24年9月）などを販売いたしました。Bistyブランドでは漫画作品などで人気を博しているコンテンツとのタイアップである「GTO Limit Break」（平成24年6月）、「夜王」（平成24年8月）を販売いたしました。

この結果、売上高121億円（前年同四半期比11.8%増）、営業利益34億円（同125.5%増）、販売台数38千台となりました。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高107億円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益4億円（同14.4%増）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高9億円（前年同四半期比21.5%増）、営業損失1億円（前年同四半期は2億円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,399億円であり、前連結会計年度末と比べ560億円減少しました。これは主に有価証券が99億円増加となりましたが、受取手形及び売掛金が317億円、投資有価証券が188億円、現金及び預金が145億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は325億円であり、前連結会計年度末と比べ451億円減少しております。これは主に支払手形及び買掛金が294億円、未払法人税等が110億円、未払金（流動負債「その他」に含む）が47億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ108億円減少しました。これは四半期純利益を46億円計上した一方、主に連結の範囲の変更により78億円の減少、配当金の支払い70億円によるものであります。この結果、純資産は4,074億円となり、自己資本比率は8.3ポイント増加し、92.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の動向等を踏まえ、平成24年5月9日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。パチンコ機の予想販売台数は432千台から190千台、パチスロ機の予想販売台数は188千台から138千台に見直しております。詳細につきましては、本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、期末配当につきましては当初予想の1株当たり75円（年間配当150円）を変更する予定はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、下記のとおり連結の範囲の変更はありましたが、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第10項に規定する特定子会社には該当いたしません。

（連結の範囲の変更）

前連結会計年度において非連結子会社であった㈱吉井カントリークラブ及び㈱オン・ザ・ネットは、重要性が増したことから連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	164,591	149,992
受取手形及び売掛金	70,340	38,551
有価証券	106,997	116,996
商品及び製品	214	7
仕掛品	1,643	334
原材料及び貯蔵品	957	448
その他	20,691	11,085
貸倒引当金	△14	△24
流動資産合計	365,423	317,394
固定資産		
有形固定資産	39,132	48,492
無形固定資産		
のれん	3,013	3,584
その他	342	361
無形固定資産合計	3,356	3,945
投資その他の資産		
投資有価証券	83,452	64,609
その他	5,192	6,081
貸倒引当金	△189	△191
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	88,075	70,119
固定資産合計	130,564	122,557
資産合計	495,988	439,951
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,504	14,084
1年内返済予定の長期借入金	335	335
未払法人税等	13,019	1,925
賞与引当金	803	1,026
その他	11,950	6,954
流動負債合計	69,614	24,326
固定負債		
長期借入金	2,816	2,811
役員退職慰労引当金	715	666
退職給付引当金	3,387	3,551
資産除去債務	58	58
その他	1,091	1,092
固定負債合計	8,069	8,180
負債合計	77,684	32,507

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,880	23,880
利益剰余金	398,805	388,501
自己株式	△20,930	△20,931
株主資本合計	416,595	406,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,708	1,154
その他の包括利益累計額合計	1,708	1,154
純資産合計	418,303	407,444
負債純資産合計	495,988	439,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	71,535	53,782
売上原価	38,934	26,367
売上総利益	32,600	27,415
販売費及び一般管理費	20,759	20,463
営業利益	11,841	6,952
営業外収益		
受取利息	528	546
受取配当金	63	162
持分法による投資利益	1,342	—
その他	164	167
営業外収益合計	2,099	876
営業外費用		
支払利息	0	3
持分法による投資損失	—	152
その他	11	5
営業外費用合計	11	161
経常利益	13,928	7,668
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産廃棄損	3	26
投資有価証券売却損	755	—
ゴルフ会員権売却損	6	—
持分変動損失	1,602	—
特別損失合計	2,368	26
税金等調整前四半期純利益	11,568	7,641
法人税、住民税及び事業税	4,908	2,859
法人税等調整額	△94	174
法人税等合計	4,813	3,034
少数株主損益調整前四半期純利益	6,754	4,607
四半期純利益	6,754	4,607

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,754	4,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△210	△546
持分法適用会社に対する持分相当額	16	△7
その他の包括利益合計	△193	△553
四半期包括利益	6,560	4,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,560	4,053
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,568	7,641
減価償却費	1,400	1,761
のれん償却額	—	368
引当金の増減額 (△は減少)	347	331
受取利息及び受取配当金	△591	△708
支払利息	0	3
持分法による投資損益 (△は益)	△1,342	152
投資有価証券売却損益 (△は益)	755	—
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	△1	—
持分変動損益 (△は益)	1,602	—
売上債権の増減額 (△は増加)	18,139	32,233
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,282	2,042
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,878	△29,590
その他	1,468	2,972
小計	14,186	17,207
利息及び配当金の受取額	810	757
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△12,545	△12,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,450	5,089
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△5,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△930	△2,365
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	30
投資有価証券の取得による支出	△24,408	△16,615
投資有価証券の売却による収入	444	—
投資有価証券の償還による収入	20,000	16,000
貸付金の回収による収入	2	8
その他	27	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,864	△7,984
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14	△7
自己株式の取得による支出	△3,720	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△7,090	△7,022
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,824	△7,030
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,239	△9,925
現金及び現金同等物の期首残高	243,230	239,591
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	322
現金及び現金同等物の四半期末残高	229,990	229,989

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,927	10,874	9,935	70,736	798	71,535	—	71,535
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	49,927	10,874	9,935	70,736	798	71,535	—	71,535
セグメント利益	11,637	1,551	380	13,569	269	13,839	△1,998	11,841

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,948	12,154	10,710	52,813	969	53,782	—	53,782
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	29,948	12,154	10,710	52,813	969	53,782	—	53,782
セグメント利益 又は損失 (△)	5,532	3,497	435	9,466	△164	9,301	△2,349	6,952

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

連結の範囲の変更を行ったこと及び剰余金の配当の実施により、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が前連結会計年度末に比べ14,911百万円減少しております。